

令和5年度

スマホ等の利用等に関する状況調査の結果について



- ・インターネットの利用は、日常の生活の中に定着している
- ・電子機器の利用について、各家庭でルールを工夫している
- ・スマホを持たせてよかった点、心配な点の両面がある
- ・スマホによるトラブルに巻き込まれた事例がある
- ・フィルタリングを利用している家庭が少しずつ増えている



市P連では

「市内統一事項」の徹底と「わが家のルールづくり」を進め、成長に合わせた段階的使用を通して、正しい情報モラルの習得、健全な生活リズムの確立のための体制づくりに努めています。

豊川市小中学校PTA連絡協議会

令和6年3月

# 状況調査 概要

現在、子どもたちの生活の中にはインターネットはごく普通に存在し、その利用は定着しつつあります。今年度も、インターネットの利用の目的や利用時間、スマホの所持率について調査をしました。また、各家庭でのルールや、スマホを持たせて良かったことや心配なこと、トラブルの有無、フィルタリングの有無についても焦点をあてて調査をしました。保護者のスマホ利用についても調査をしました。

## 1. インターネットの利用状況

### (1) 利用の有無

○小中学生ともに、インターネットの利用は日常の中に定着している。

#### 利用の有無(R5)

学年	小2	小4	小6	中1	中2	中3	小学計	中学計	全体計
回答数	323	373	445	185	221	194	1141	600	1741
利用している	92.6%	96.8%	98.9%	100.0%	100.0%	99.0%	96.4%	99.7%	97.5%
利用していない	7.4%	3.2%	1.1%	0.0%	0.0%	1.0%	3.6%	0.3%	2.5%

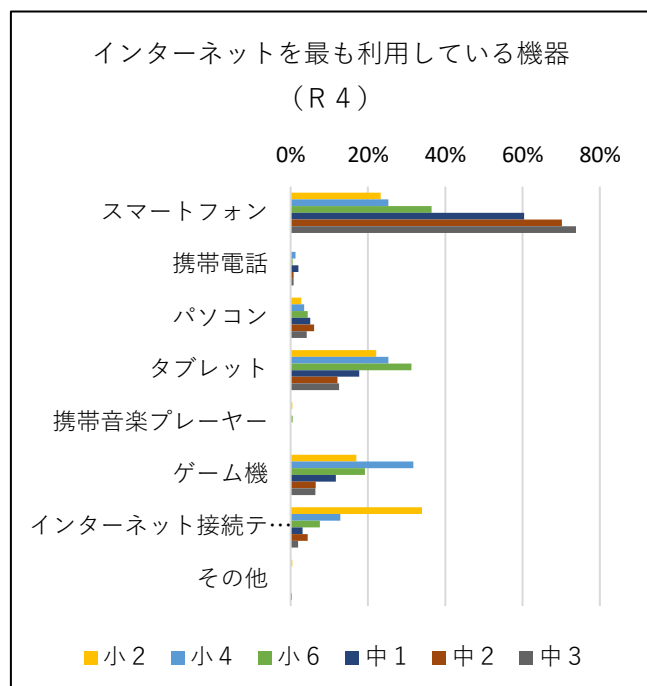
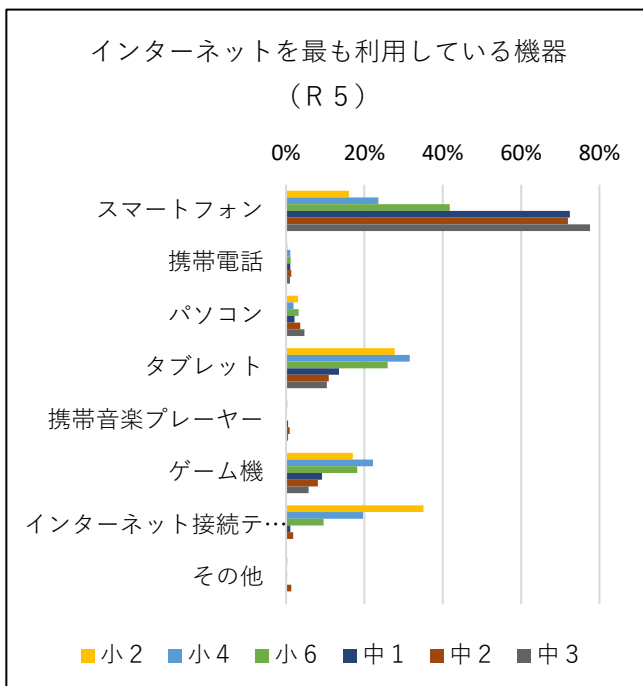
#### 利用の有無(R4)

学年	小2	小4	小6	中1	中2	中3	小学計	中学計	全体計
回答数	301	348	399	201	248	266	1048	715	1763
利用している	84.1%	89.7%	96.2%	98.0%	100.0%	99.2%	90.6%	99.2%	94.0%
利用していない	17.1%	9.0%	3.9%	3.2%	3.4%	0.9%	9.7%	2.5%	7.5%

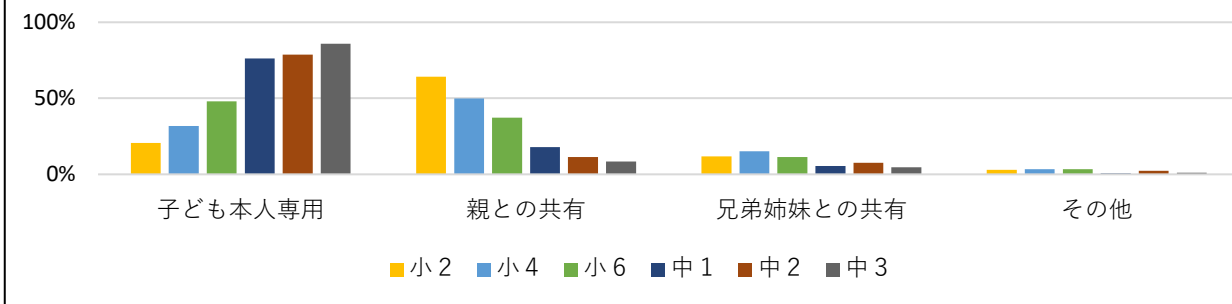


### (2) インターネットを最も利用している機器とその所有者

- 小中学生ともにスマートフォンが1位、タブレットが2位、ゲーム機が3位となっている。
- 小学校2年生では、インターネット接続のテレビの割合も高くなっている。
- 機器の所有者は、小学校では「親との共有」、中学校では「子ども本人専用」の割合が一番高くなっている。



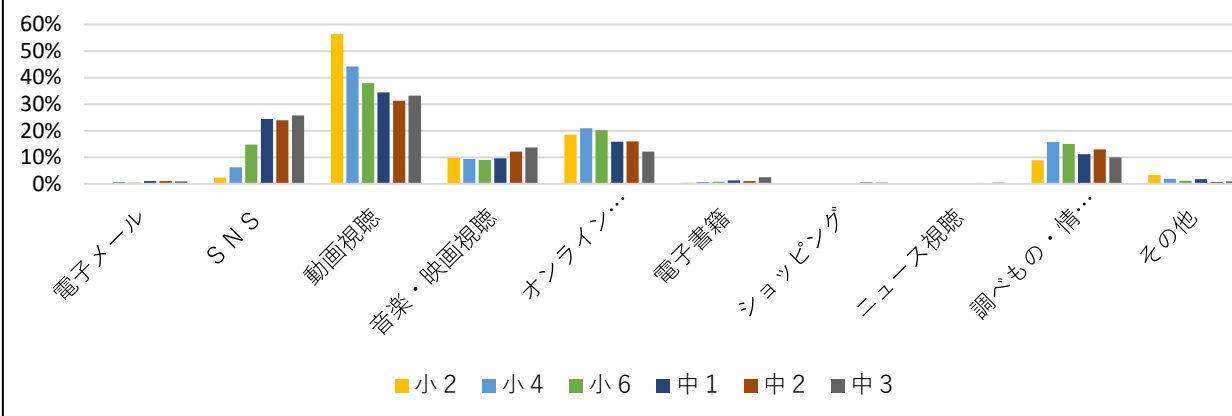
### インターネットを最も利用している機器の所有者（R5）



### (3) 利用の目的

- 小中学生すべての学年で、動画視聴が1位となっている。
- 動画視聴以外では、小学生ではオンラインゲーム、中学生ではSNSの割合が高くなっている。

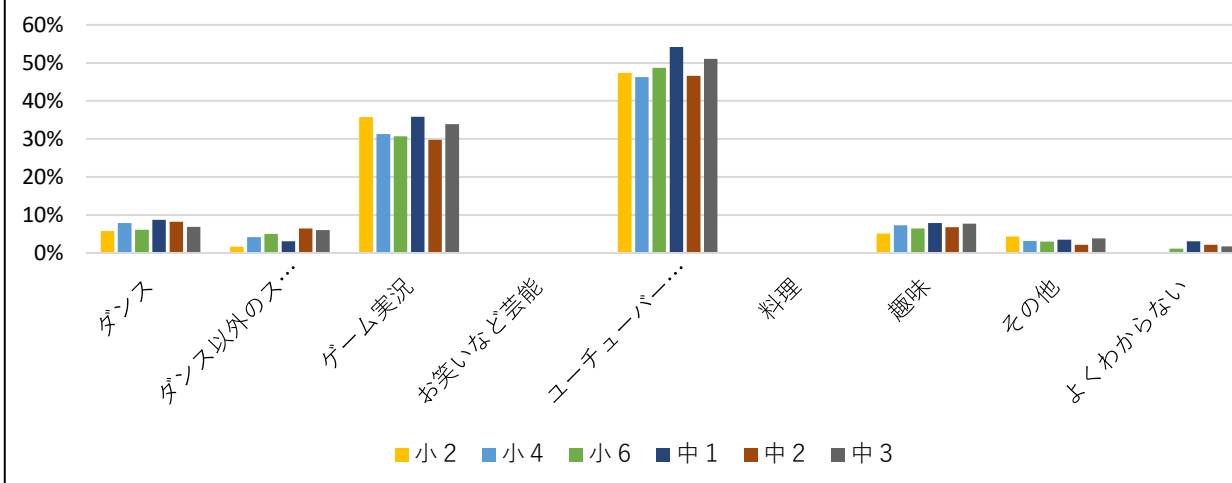
### インターネットの利用目的（R5）



### (4) 動画視聴の内容

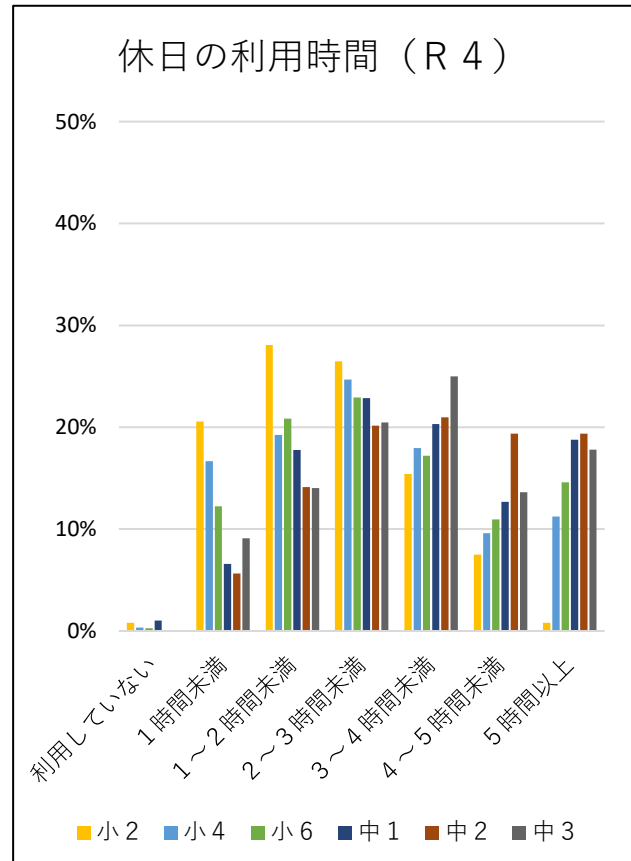
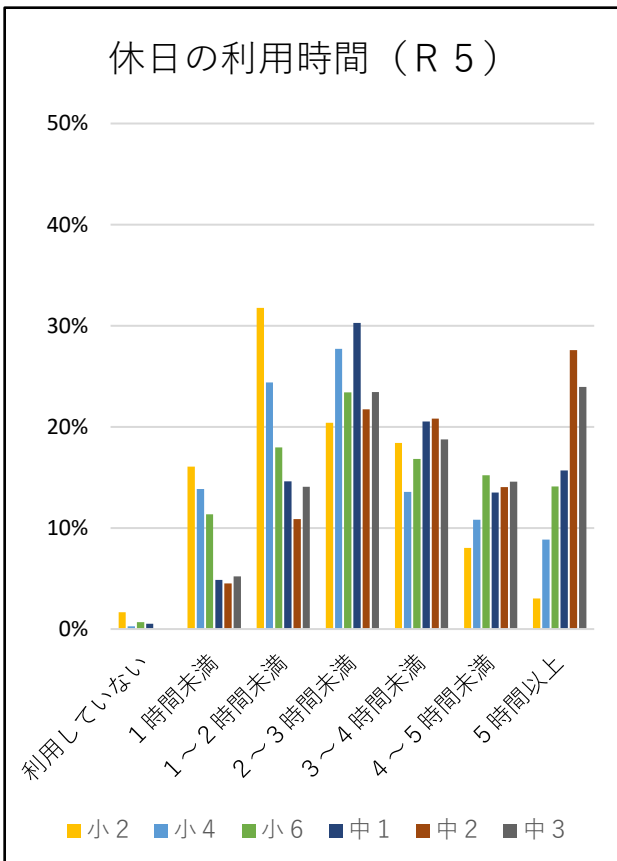
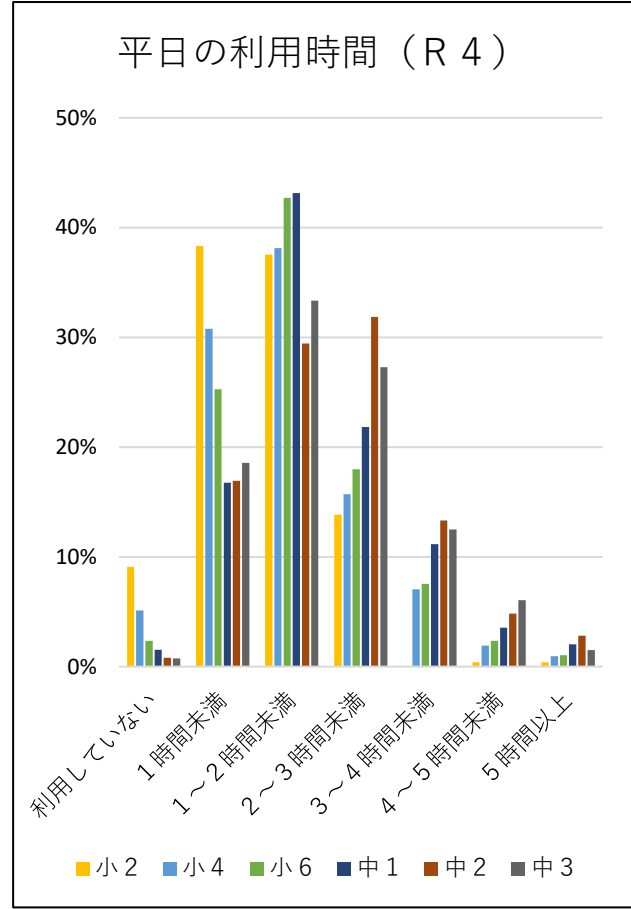
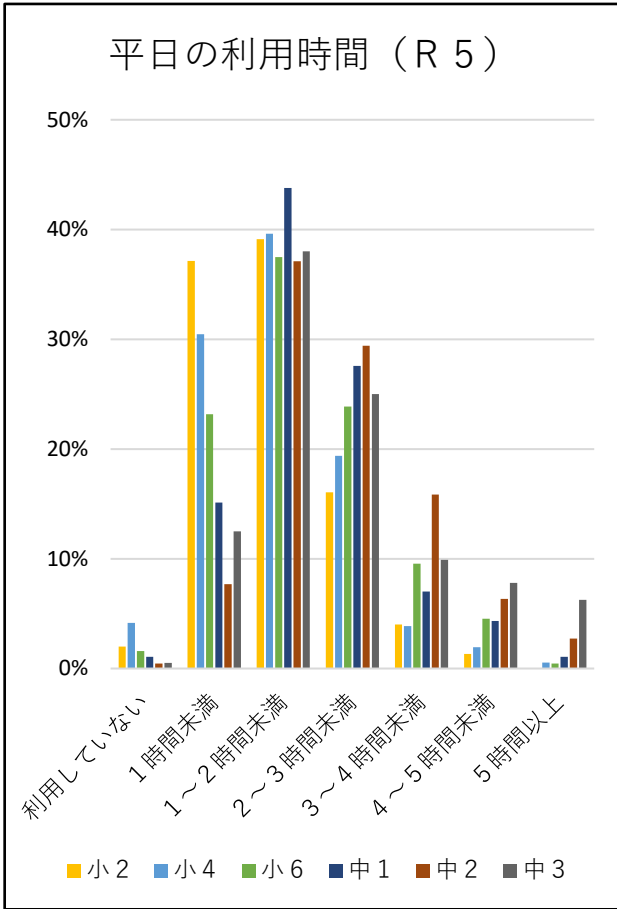
- 小中学生ともに、「ユーチューバーチャンネル視聴」の割合が高くなっている。
- 小学生では、「ゲーム実況視聴」の割合も高くなっている。

### 動画視聴の内容（R5）



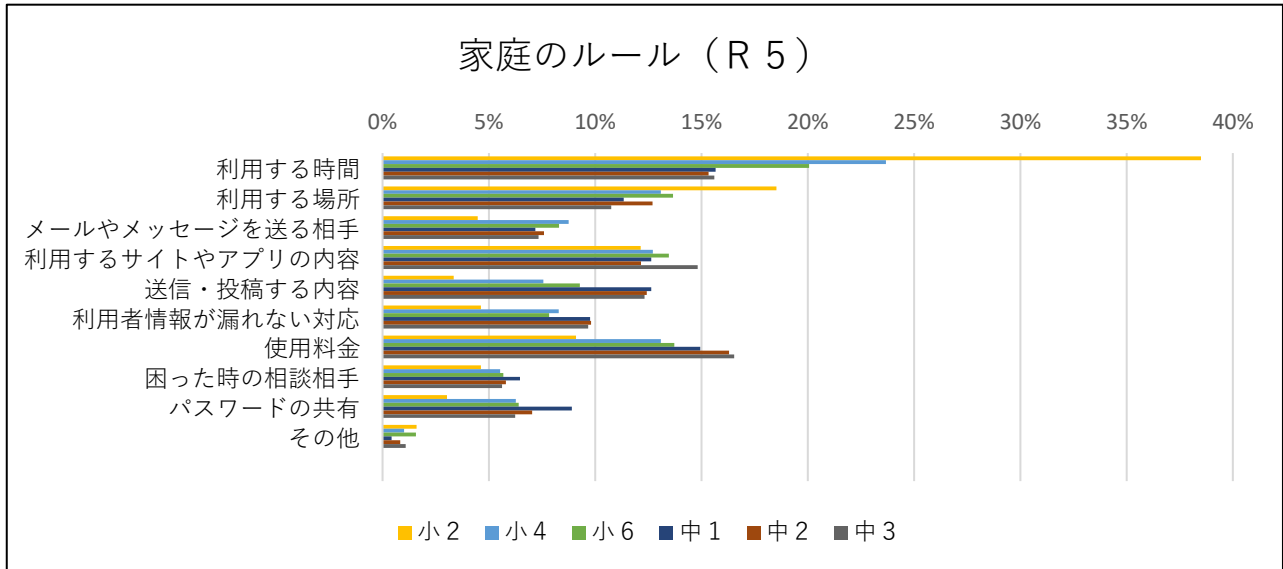
## (5) 利用時間

- 平日よりも休日の方が利用時間が長時間にわたる傾向がみられる。
- 平日の利用で、小学生は2時間未満が多く、中学生は1～3時間未満が多くなっている。
- 休日の利用で、中学生の20%近くが5時間以上の利用となっている。



## (6) 利用についての家庭でのルールとその決め方

- ルールの内容は小中学生ともに、「利用時間」、「場所」、「サイトやアプリの内容」、「使用料金」についての割合が高くなっている。
- 中学生では、「送信・投稿する内容」や「利用者情報が漏れない対応をしている」家庭も多い。
- 小中学生ともに、「親子で話し合っている」家庭が多い。



### ◇その他

- 小学生：
- ・使用前に親への確認を取らせる。調べ物をするときのみ許可。
  - ・宿題などやるべきことを全てやってからしか使用しない。
  - ・パスワードは親管理。

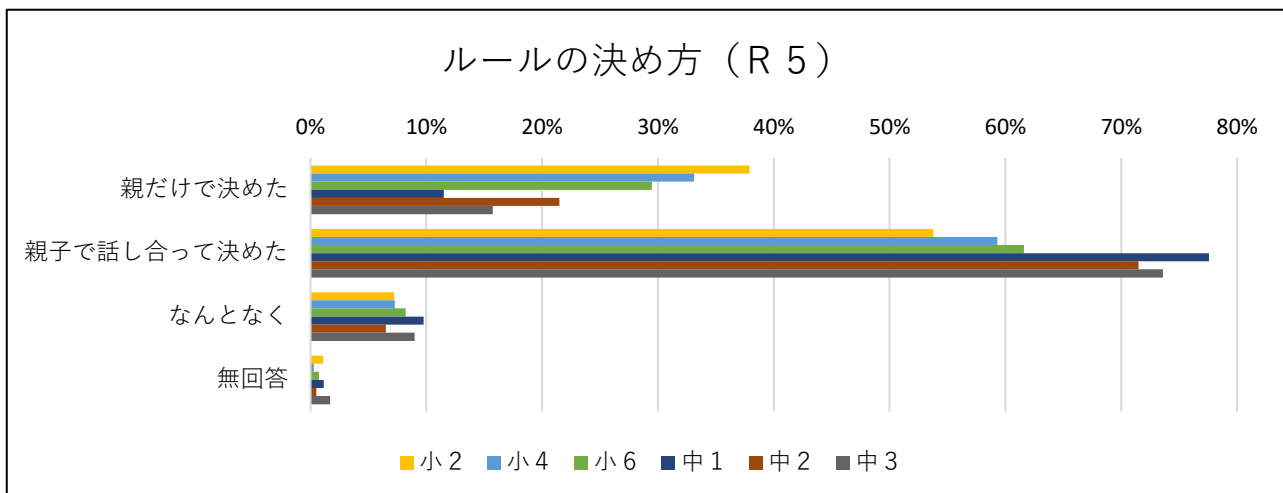
★ルールを決めても基本的に守らないのが現状。

- 中学生：
- ・SNSは見るだけで絶対に投稿しない。
  - ・テスト期間中は使用しない。
  - ・学校を休む時は やらないよう ゲーム機器を親が預かる。

★決めても守ってくれない。

★ルールを決めようとしても話し合いにならない。

学年	小2	小4	小6	中1	中2	中3	小学計	中学計
何らかのルールがある家庭	92.6%	95.3%	94.1%	94.1%	90.5%	92.7%	94.1%	92.3%
特にルールは決めていない家庭	7.4%	4.7%	5.9%	5.9%	9.5%	7.3%	5.9%	7.7%



## ☆我が家独自のルール＜抜粋＞

小学生

- ・スマホはリビングで使う。スマホやゲームは寝る1時間前まで。
  - ・ゲームは休日のみ、ゲーム機でやらずテレビ画面でやる。
  - ・9時以降は使わない、寝室に持ち込まない。
  - ・有料サイトは絶対にしない。
  - ・隠れて見ない。ルールが守られないときはすぐに没収。
  - ・スマホの目的は連絡手段のため。動画やゲームをやってはいいのは家の中だけ。
- スマホは親が契約をしている物なので、借りているということを最初に伝えた。

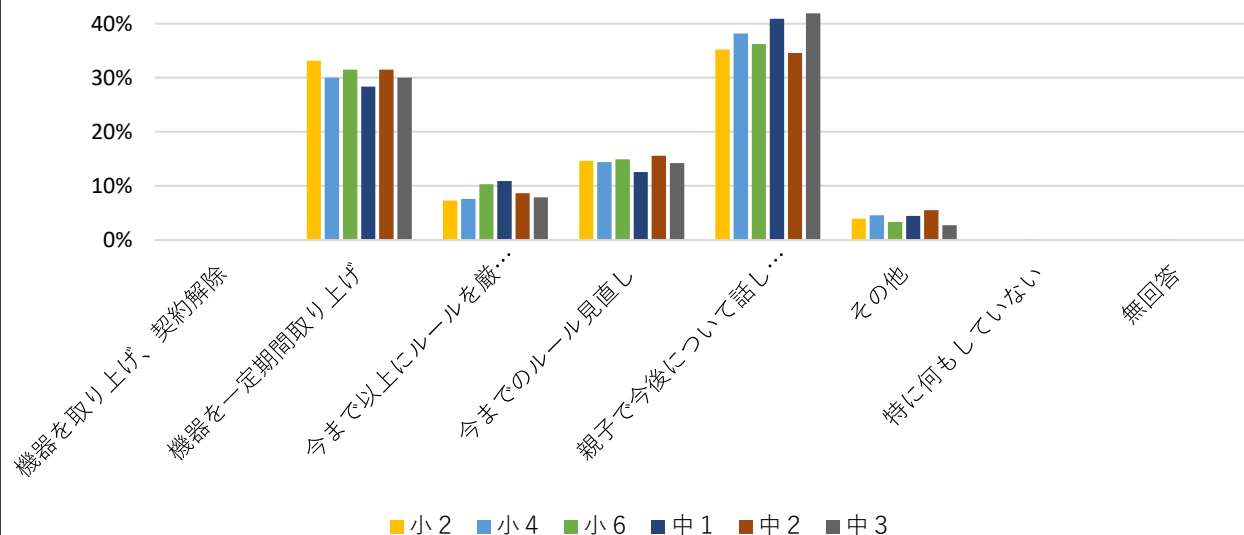
中学生

- ・就寝の時は携帯、タブレットはリビングに置いて寝室へ行く。
  - ・テスト週間中はスマホ、ゲーム禁止。
  - ・利用時間や内容など、自分でよく考えてコントロールできなければ親が管理する。
  - ・SNSで実際に知らない人(会ったことない人)のフォローはなるべくしない。
  - ・ロックをかけない(いつでも親が見ることができる状態)。
  - ・ダメと言われたことをしたら即解約。
- 自分の携帯を持つのは中学卒業してから。

## (7) ルールが守られない時の対応

- 小中学生ともに、「親子で今後について話し合う」の割合が最も高く、「機器を一定期間取り上げる」が次に高くなっている。
- 「今までのルールを見直し」たり、「今まで以上に厳しくする」家庭もみられる。
- 「その他」では、子どもが自分で考える機会を作ることも書かれていた。
- 現在は守られているので、特に決めていないという家庭もあった。

ルールが守られないときの対応 (R5)



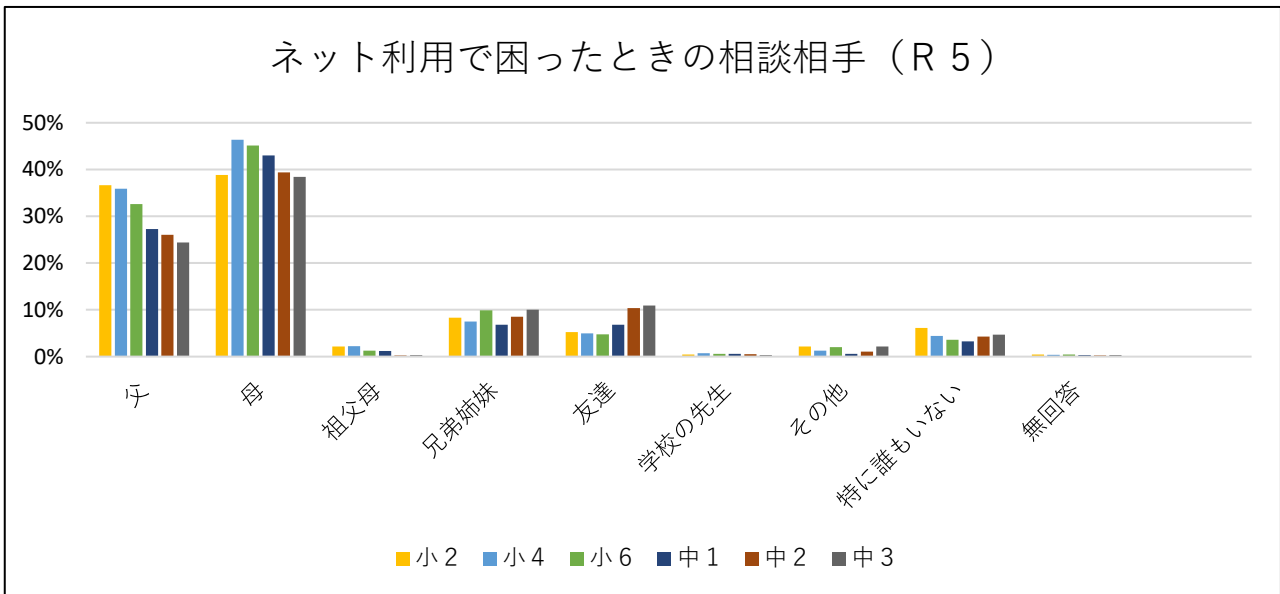
## ◇その他＜抜粋＞

- 小学生：
- ・親が保管し、二度と触れないようにする。
  - ・一旦使用禁止にし、その後話し合いルールの変更をする。
  - ・どうしてそうしたのか？それをしたら怖いことが起きると説明して納得させる。
  - ・何をどうしたかったのか、それは危険が伴わないのか話し合う。
  - ・Wi-Fiからはじき出す。
- ☆始まりも終わりも親が設定しているので、基本的にルールを守れている。

- 中学生：
- ・取り上げて話し合う。
  - ・今すぐ使うのをやめるように促す。
  - ・最近の利用の仕方はどうなの？と声をかけて考えさせる。
  - ・なぜルールを作ったかを話し、注意をする。
  - ・ロックする。
- ☆ルールを守らなかった時がない。  
 ★どう対応しても改善が見られなかったので放置。←決めても守ってくれない。  
 ★話し合いに応じない。また注意しても言い訳ばかりする。

## (8) インターネット利用中に困ったときの相談相手

- 小中学生ともに、「両親」に相談する割合が高くなっている。「母親」の方がやや多い。
- 中学生では、1割程度が「友達」に相談していることがわかる。



### ◇その他

- 小学生： 家族全員、叔母、叔父  
 ☆特に困り事はないため相談相手はない  
 中学生： 従兄弟、家族間

- ◎ インターネットの利用は、日常生活の中に定着
- ◎ インターネットの利用目的は、動画視聴をはじめ多様化
- ◎ インターネットの利用時間は、休日において長時間利用
- ◎ インターネット利用時のルールを設定している家庭が多いが、なかなか守られていない状況

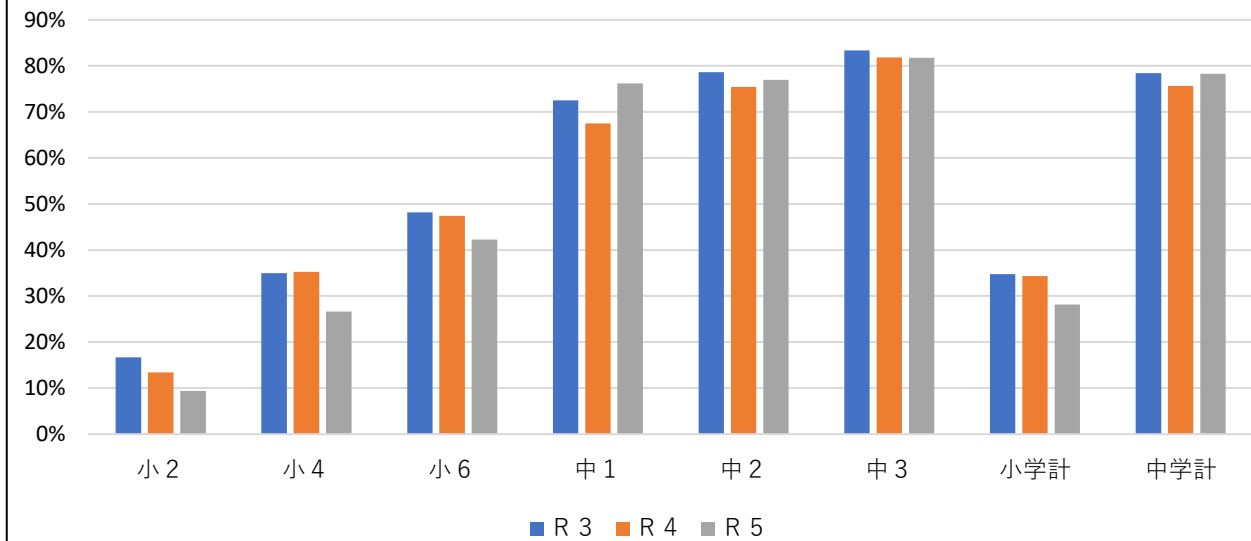
## 2. スマートフォンの所持

### (1) スマートフォンの所持状況

- 小中学生ともに、スマホの所持率は前年度と大きな変化はない。
- 中学校へ進学することをきっかけに、携帯・スマホを所持する人が多い。

## スマートフォンの所持状況（R 3～5）

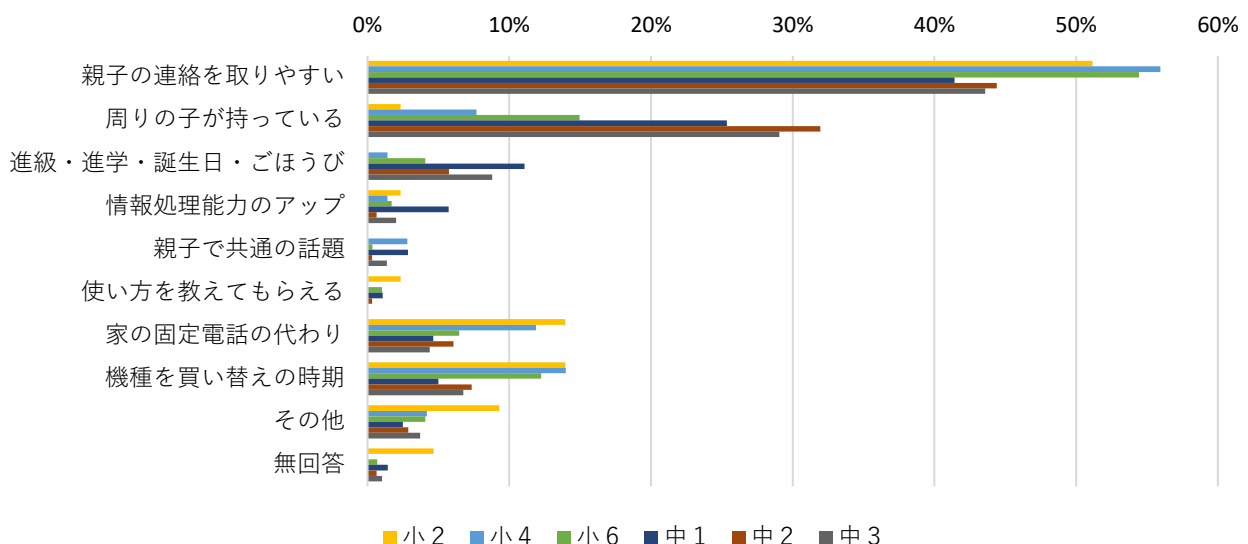
※R 3・4は、携帯も含めた調査となっている



## （2）持たせた理由

- 小中学生ともに、「親子の連絡を取りやすい」の割合が最も高くなっている。
- 中学生では、「周りの子が持っている」ことも所持のきっかけとなっている。
- 小学生では、「機種買い替えや」「固定電話の代わり」の理由も目立つ。
- 「その他」では、子どもの安全確認や留守番時の利用のための理由が多かった。また、中学生では、塾等のオンライン授業に関する意見もあった。
- 「その他」では、小中学生ともに将来のことを考えて持たせている意見もあった。

## 持たせた理由（R 5）



### ◇その他＜抜粋＞

- 小学生：
- ・家族や友達(海外)との連絡の為。
  - ・防犯ブザーもかねている。
  - ・習いごとの連絡が動画共有などのやりとりで必要と感じたから。

☆今からIT機器に慣れておいた方が苦手意識を持たないと思ったから。

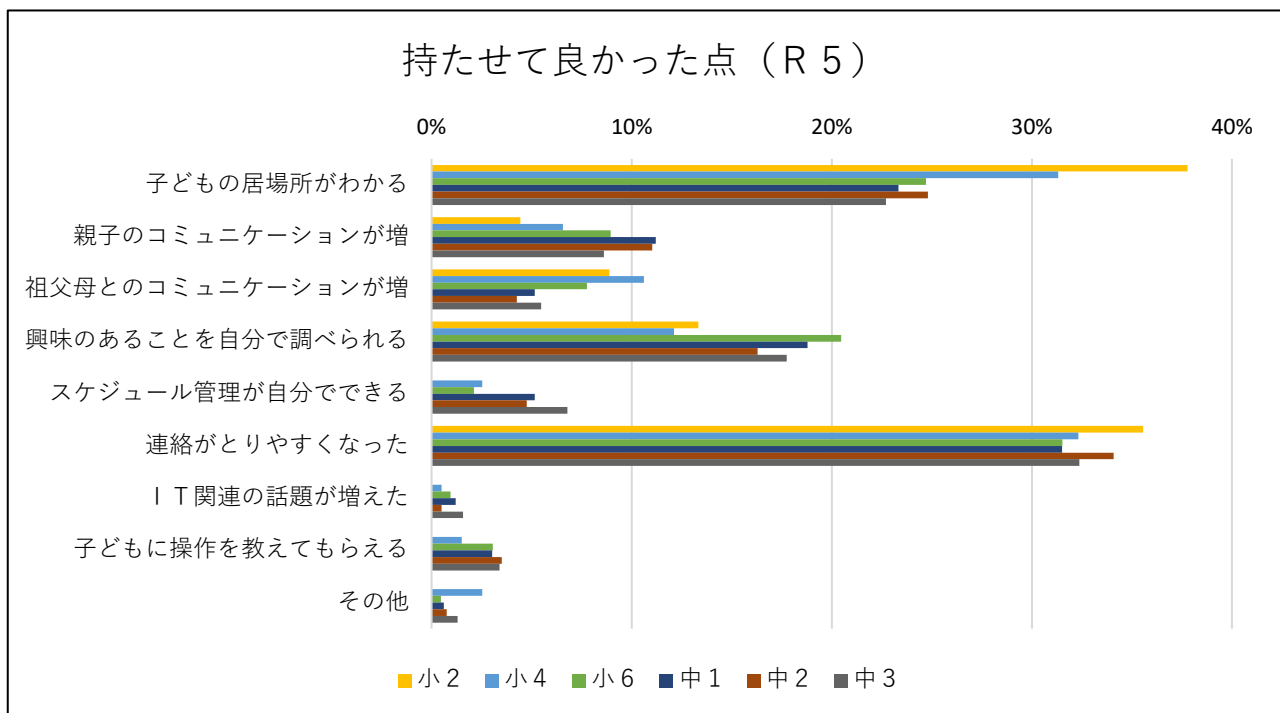
☆そろそろ自分のスマホを持って少しずつ練習してもいい頃だと思ったから。



- 中学生：
- ・留守番をさせるようになったことから。
  - ・県外だった祖父母や叔母との連絡手段として。
  - ・塾のオンライン授業で必要になったから。
  - ・クラスLINE加入のため。
  - ・部活の連絡がスマホで行われるため。
- ☆いずれは使う事になるから、早くから覚えて理解してもらう為。

### (3) 持たせてよかった点

- 小中学生ともに、「子どもの居場所がわかる」や「連絡がとりやすくなった」の割合が高くなっている。
- 小学校6年生から中学生では、「興味のあることを調べられる」割合も高くなっている。
- 小学生よりも中学生のほうが「親子のコミュニケーション」が増えていると答えている。

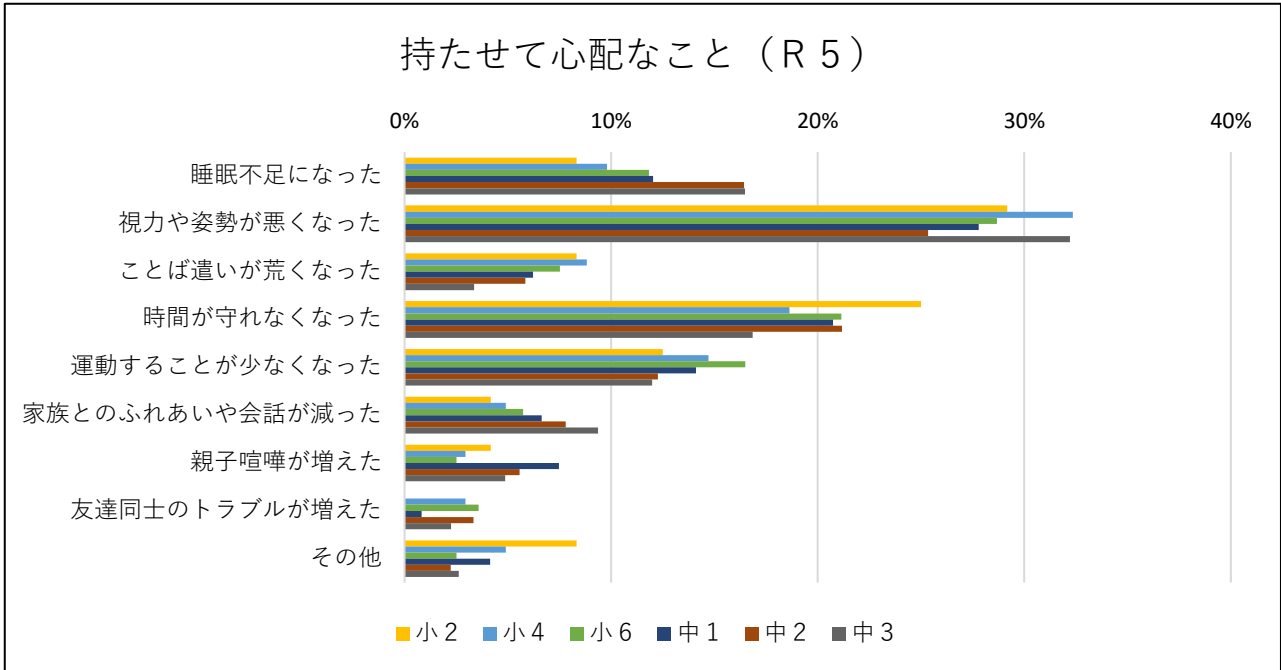


#### ◇その他

- 小学生：
- ・留守をしている時に連絡を取る事ができる。
  - ・出先からでも連絡が取りやすくなった。
  - ・知識が増えた（勉強も含む）。
- 中学生：
- ・楽しみと責任は必ずセットだからと実感として納得できるようになった。
  - ・良いことも悪い事も含め、世界が広がった。
  - ・心が安定した。
  - ・興味のある事を調べて、それを話してくれる。

#### (4) 持たせて心配な点とその対応

- 小中学生ともに、「視力や姿勢が悪くなった」の割合が最も高く、「睡眠不足」や「運動することが少なくなった」のように健康に関する回答の割合が高くなっている。
- 小中学生どの学年も「時間が守れなくなった」との回答の割合が高くなっている。
- 「その他」では、長時間の使用による弊害や閲覧する内容を心配する声、親では把握しきれないような状況を心配する声があった。



#### ◇その他<抜粋>

- 小学生：
- ・スマホ以外の遊びが出来なくなった。
  - ・今後LINEでの友達との関わり方(時間やグループなど)が心配。
  - ・ながら行動するようになった(トイレに行くときも持って行く)。
  - ・すべきことが後回し。
  - ・個人用スマホ単独の事案では無く、複合的な心配事。
- 中学生：
- ・不適切な動画や情報を見てしまうことが心配。
  - ・メッセージ受信の度に気になって、物事に集中できない。
  - ・グループラインでかなり遅くまでやり取りをしている。
  - ・ネットに書いてあることを中心に信じてしまって、親の言うことは聞かない。
  - ・YouTubeなどで同じものばかりで他に興味が広がらない。
  - ・オンラインゲームですぐ大声でわめいたり、モノに当たる。
  - ・依存症のように常に見ている。

#### 【対応方法】<抜粋>

##### 小学生

- ・姿勢が悪くなっていたら声かけをする。← 視力や姿勢が悪くなった。
- ・学校(先生)と相談した。← 友達とのトラブルが増えた。
- ・使用する時間をその都度決めさせて守らせた。← 睡眠不足になった。
- ・ルールの見直し。← ことば遣いが荒くなった、時間が守れなくなった。
- ・LINEの内容チェック。← 友達同士のトラブルが増えた、時間が守れなくなった。
- ・閲覧できないようにした。← 不適切なサイトや画像閲覧。

##### 中学生

- ・通知をオフにする。← メッセージ受信の度に気になって、物事に集中出来ない。
- ・その都度注意。← 視力や姿勢が悪くなった。
- ・時間制限ロックをかけて、1日の使える時間に制限をかけた。← 時間が守れなくなった。

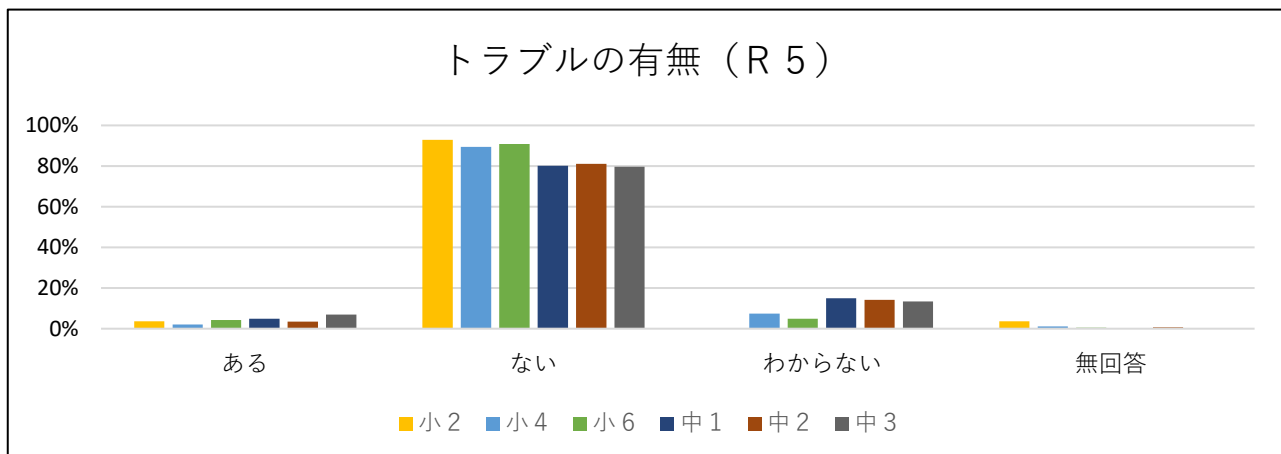
- ・時々スマホ確認をする。← SNSで、知らない人と繋がる。
- ・グループにはなるべく所属させない。← 友達とのトラブルが増えた。
- ★ スマホを与えた事は失敗でした。宿題より優先順位がスマホになり完全に悪影響。
- ★ 友達と通信で遊ぶ事が多くなり、家に遊びに行く事も来る事も、かなり少なくなった。ゲームをするのにもLINEを繋げてやっているの、実際に親と子どもの友達が話す機会も減っているの、トラブルが分かりにくい。

- ◎ 小中学生ともに、学年を問わず所持の割合は前年度と同程度
- ◎ 持たせた理由としては、親子の連絡方法として利用するためが上位
- ◎ 持たせて良かった点として、子どもの居場所確認できるためが上位
- ◎ 持たせて心配な点として、視力や姿勢などの健康面
- ◎ 小学生に比べ、中学生の方が深刻な点が見られる

### 3. トラブルについて

#### (1) トラブルの有無とその内容

- トラブルは、どの学年でも起こっている。
- 小学校6年生から中学生まで、「誹謗中傷や脅迫行為、いじめを受けた」や「個人情報（写真投稿等）の漏えい」があったとの回答が数件見られた。
- 「その他」では、友達個人や友達グループ内でのトラブルが挙げられた。



学年	小2	小4	小6	中1	中2	中3	小学計	中学計
誹謗中傷や脅迫行為、いじめ	0	0	3	4	2	3	3	9
性犯罪被害やストーカー被害	0	0	1	0	0	2	1	2
アカウント搾取、不正請求	0	1	1	0	2	3	2	5
個人情報（写真投稿等）の漏えい	0	0	4	1	2	4	4	7
著作権侵害	0	0	0	0	0	0	0	0
フィッシング詐欺	0	0	0	0	0	1	0	1
落として他人に利用	0	0	0	0	0	0	0	0
知らない人から電話やメール応答	0	1	0	0	0	2	1	2
その他	1	0	2	3	1	2	3	6

#### ◇その他

- 小学生：
- ・友達とのグループLINEで嫌がらせを受けた。
  - ・知らない人から電話やメールを送られ、応答してしまった。
  - ・ゲーム中に友達同士でのチャットでのやり取りでもめた。
  - ・友達が我が子のスマホを操作し、LINEの偽装メールを送りトラブルになった。

- 中学生：
- ・言葉の理解が違い、友達とトラブルになった。
  - ・友達の悪口をD Mで送って相手を傷つけてしまった。
  - ・本人がSNSで友達の悪口を拡散させた。
  - ・本人は意図せず友達を傷つけてしまった。

## (2) トラブルの対応<抜粋>

### 小学生

- ・学校で一緒にいるグループから抜けた。担任の先生にも何があったのかを伝えた。
- ・学校に相談して協力してもらい解決してもらった。
- ・自分以外の人にスマホを触らせないように注意した。
- ・相手にしないよう伝えた。

### 中学生

- ・保護者だけでは解決できず、学校の先生に仲介してもらった。
- ・トラブル相手と親御さん、学校を交えて話し合った。
- ・グループから抜けさせた。メールアドレスを変更した。
- ・過剰請求に対して、携帯会社に問い合わせをして、無事に料金を返金してもらえた。
- ・IDを削除した。

## (3) 注意していること、させていること<抜粋>

### 小学生

- ・スマホやゲームは家から持ち出さない。LINEなど連絡を取る相手は家族のみ。
- ・親が中身を全て見ている。
- ・電話帳に登録してある番号以外の電話に出ない。メールが届いても開かない。
- ・Googleのファミリーリンクで居場所、利用時間、アプリの管理をしている。
- ・LINEで友達と繋がる時は、親の許可を得てから。
- ・人の悪口を書き込まない。SNSで知り合った人と実際に会わない。
- ・お気に入り登録、何かへの登録などは親の許可を得ると約束。
- ・自分の携帯を他の子に触らせない、使わせない。緊急の用事の際は大丈夫。
- ・友人と連絡先の交換はさせない。
- ・子どもだけの時は動画や写真は撮らないように言ってある。
- ・家族以外とはSNS（ライン）のやりとりをさせていない。
- ・アプリを開けないようにロックをかけている。
- ・メールをする時は相手が嫌な気持ちになるような内容に気をつける。

### 中学生

- ・見ず知らずの人と連絡を取らない。取れる状況にしない。
- ・相手が傷つくような投稿やLINEは送らない様に注意した。
- ・書込みはしない。写真を送らない。
- ・個人を集団で誹謗することは絶対にしない。文字に残す事の責任を理解させる。
- ・LINEで、親に見せれない会話はしない。
- ・決まった相手以外、連絡はとらない。知らないメールは開かない。
- ・絶対に自分がされて嫌なことは、他人にもしない。
- ・LINEでの友だちとの会話は、伝え方の相違が出て相手を傷つけることもあるので、確認してから送るように伝えている。
- ・オンラインなどは個人情報特定されないように注意している。
- ・トラブルになりそうな内容は携帯にスクショさせている。
- ・Instagram やXは投稿はしない。閲覧専用だけにする。
- ・勝手に投稿や契約をしないように話しをしている。
- ・連絡を取るグループは少人数のみで親がいつでも見られるようにする。

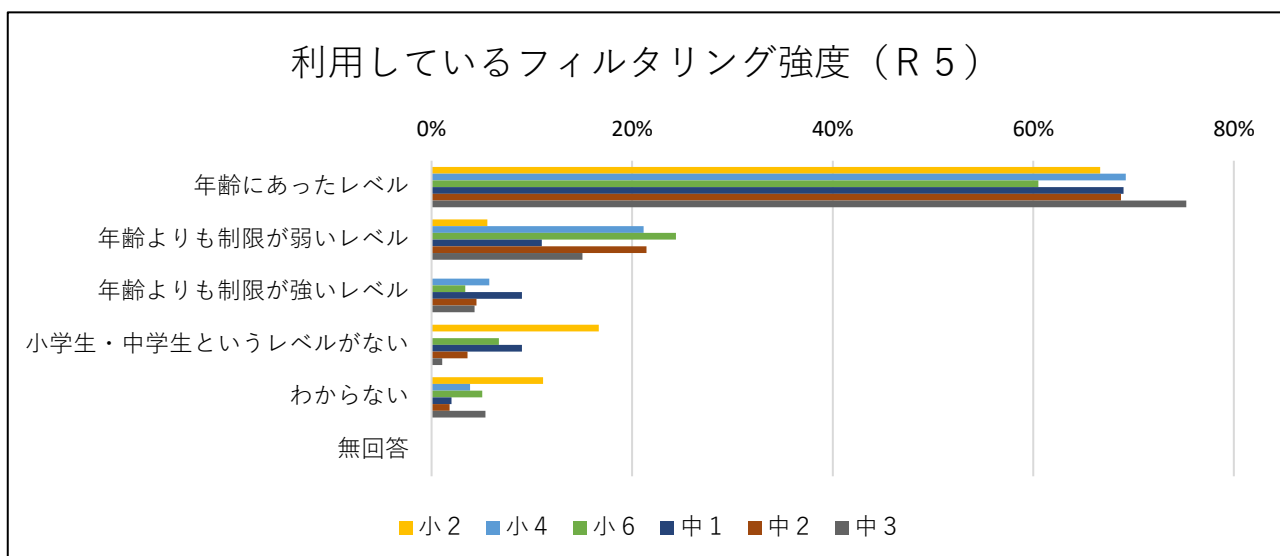
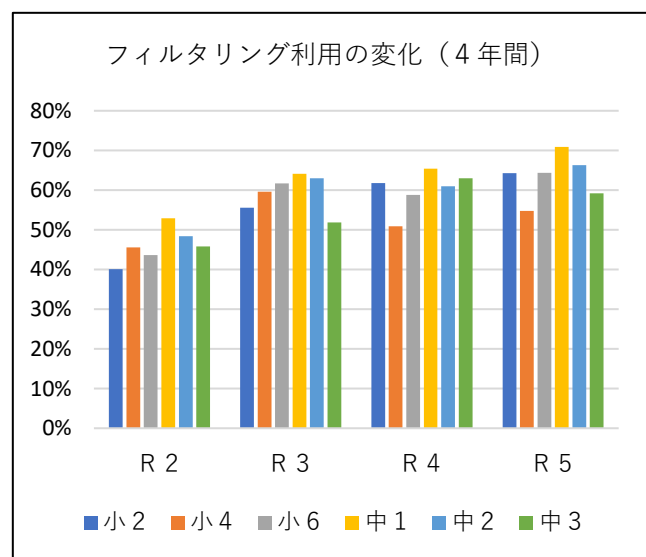
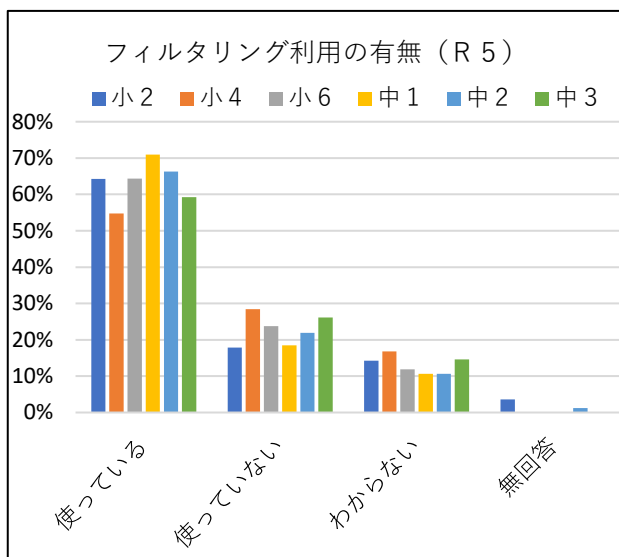
- ・ 所属するグループを限定する。個人レベルでのつながりにとどめる。
- ・ トラブル例を共有する。
- ・ 困った事は些細な事でも相談する。
- ・ TV情報などを共有して他人事ではない旨を常に会話する。

- ◎ スマホの利用に関して、トラブルに巻き込まれた事例がある
- ◎ トラブルの原因としては、SNSによるものが多い
- ◎ トラブルについて、親子間での話し合いが重要
- ◎ 家庭内で注意していることやさせていることが幅広いが、具体的な対応方法を示している家庭もある

## 4. フィルタリングについて

### (1) フィルタリングの利用の有無とその強度

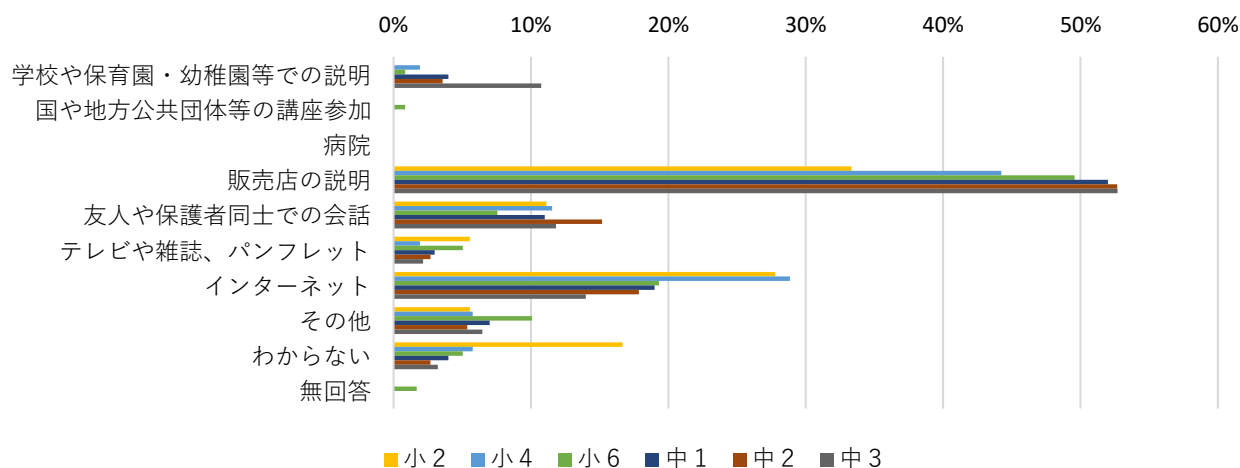
- 小中学生ともに、利用の割合は50%~60%となっている。
- 小学生全体では昨年度よりも利用率が上がり、中学生全体では年々上がってきている。
- 利用について、「わからない」という回答についての割合が10~20%ある。
- 小中学生ともに、「年齢にあったレベル」の割合が高くなっている。
- フィルタリングの強度で「年齢よりも弱いレベル」とした回答の割合が15~20%見られる。



## (2) フィルタリングを使うきっかけ

- 小中学生ともに、「販売店の説明」によって設定した割合が高く、「インターネットで知って」が続いている。
- 「友人や保護者同士での会話」から設定している場合も増えてきている。
- 「その他」では、フィルタリングについて保護者の意識の高さが表れた意見が多かった。

フィルタリングを使うきっかけ (R5)



### ◇その他

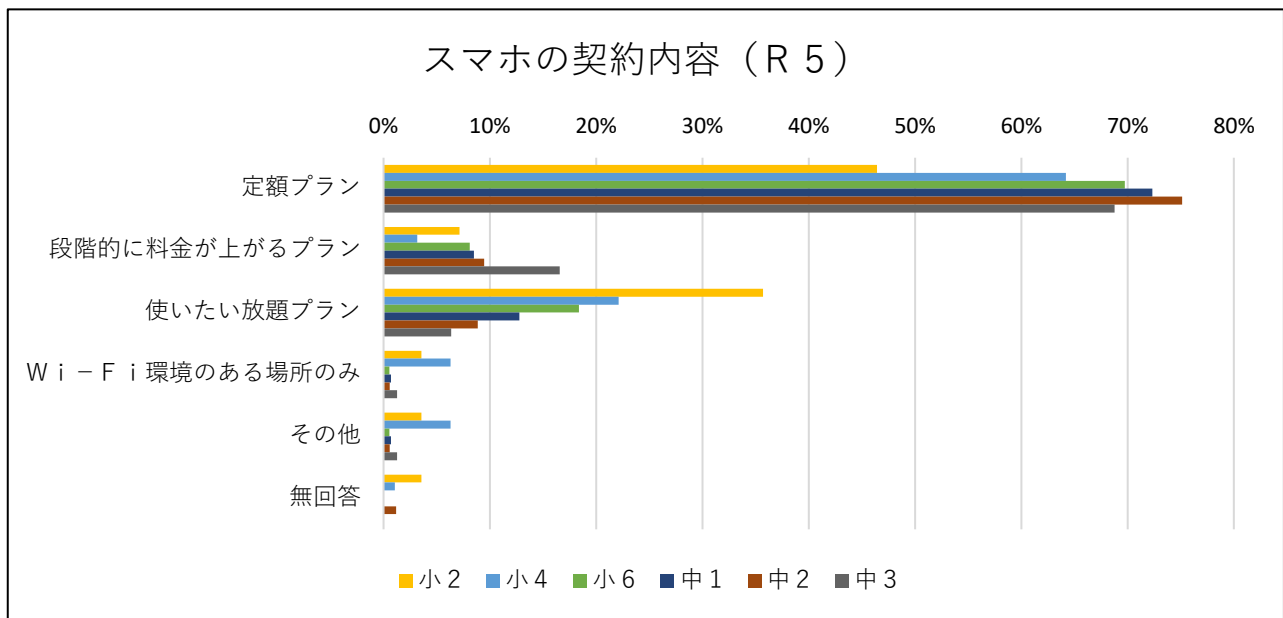
- 小学生：
- ・子どもが適切に使えるように。
  - ・絶対につけると決めていたから。
  - ・必要以上の機能が使えないように。
- 中学生：
- ・未成年にとって有害な情報を遮断するのは情報機器を使う上での基本である。
  - ・一般常識として。きっかけなどない。
  - ・父親の意見。でもフィルタリングしても抜け道があるので意味がない。
  - ・フィルタリングは必須事項だと思っている。
  - ・やらないという選択肢はない。
  - ・親の責任だと思ったから。

- ◎ フィルタリングの設定状況は少しずつ増えているが平均6割強
- ◎ フィルタリングの利用について、「わからない」とした家庭が10~20%
- ◎ フィルタリングの強度は年齢に合わせたレベルが多いが、年齢よりも弱いレベルの利用が20%前後
- ◎ 子どもの安全のためにフィルタリングを積極的に利用する保護者もいる
- ◎ フィルタリングの重要性を広めることが重要

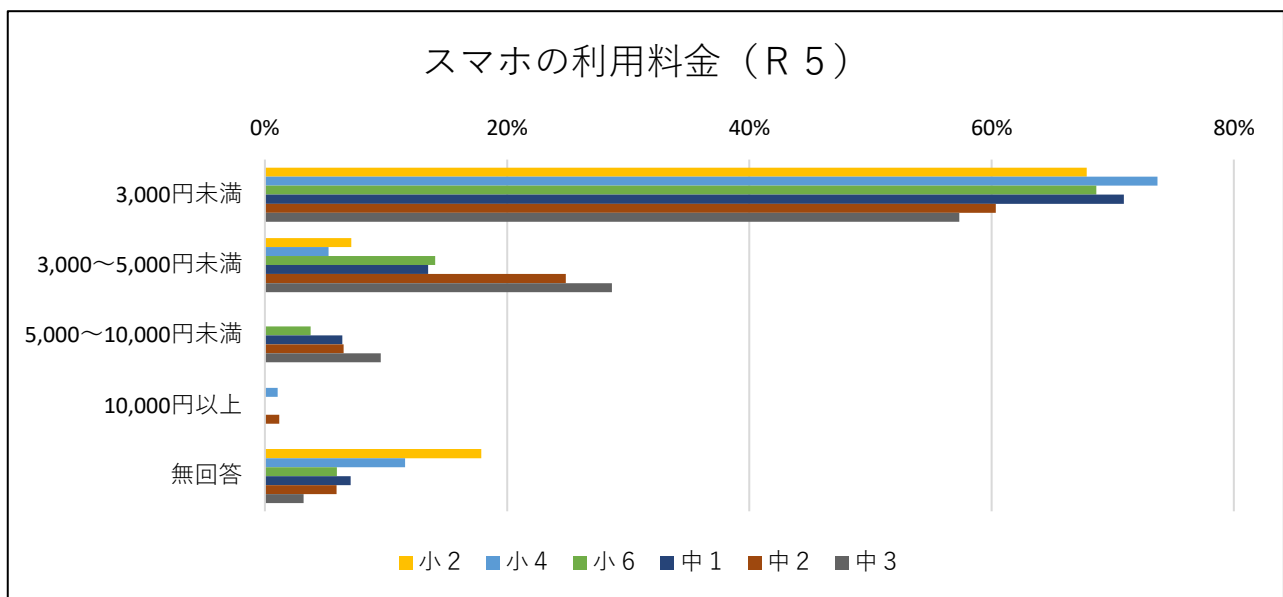
## 4. スマホの契約内容や利用料金

- 小中学生ともに、定額プランの割合が最も多く、使用量は1~5GBが最も多かった。
- 学年の下の方が「使いたい放題プラン」が多い。
- 小中学生ともに、利用料金は3,000円未満が最も多く、利用料金の支払いは保護者が最も多くなっている。
- 学年が上がるほど利用料金が高くなっている。

スマホの契約内容（R 5）



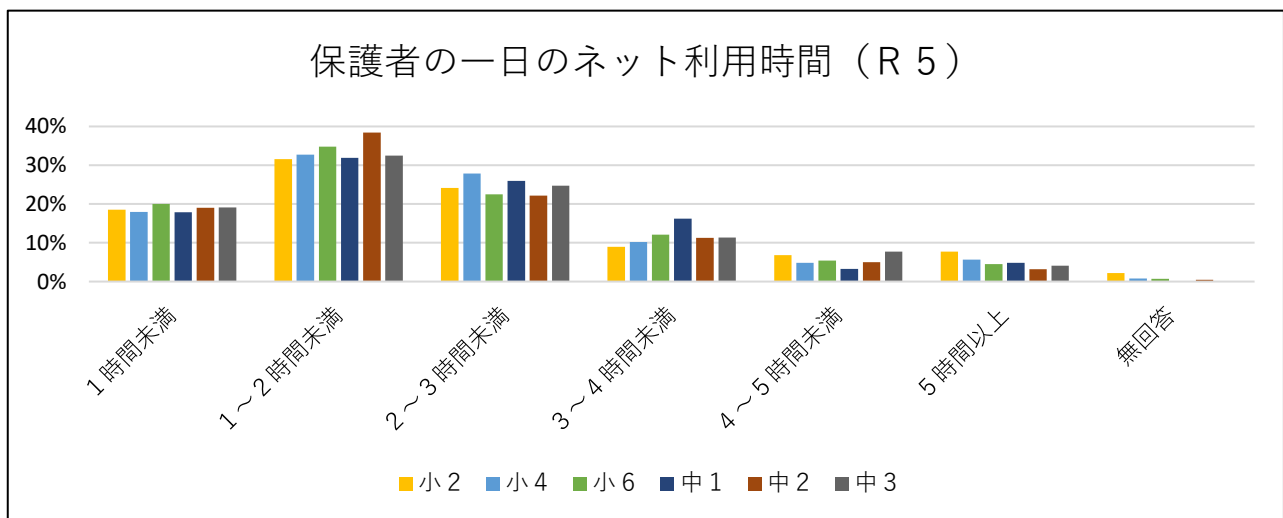
スマホの利用料金（R 5）



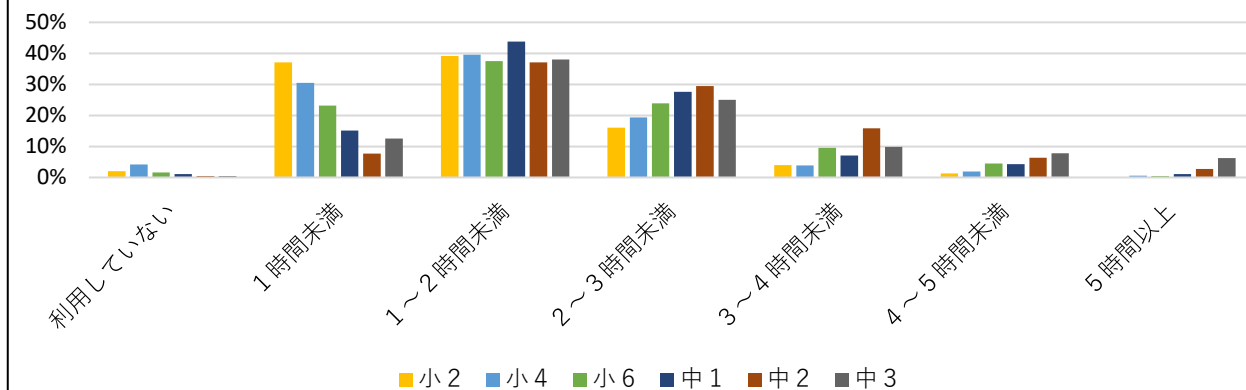
## 5. 保護者自身のスマホ利用

### (1) 一日のインターネット利用時間

保護者の一日のネット利用時間（R 5）



## 児童生徒の平日のネット利用時間（R5）



## （2）お子さんの前でスマートフォンを使用するときの注意点＜抜粋＞

### 小学生

- ・ パスワードを教えない。
- ・ 子どもが話しているときは、スマートフォンを触らない。
- ・ 食事の際と家族団欒の際は使用しない。
- ・ ながら視聴等は気をつける。
- ・ 子ども前で動画等を見ない。
- ・ 仕事での利用が多いので、そのことを説明している。
- ・ 勉強や習い事の練習の邪魔にならないよう常にマナーモードにしている。
- ・ 空き時間のみにし、呼ばれたらすぐに答える。

### 中学生

- ・ 子どもが勉強をしている側では使用しない。
- ・ 食事中などはスマホを触らないようにする。
- ・ パスワードがわからないようにする。
- ・ 注意する時は自分も見ないように気をつけている。親は良くて子どもはダメは通じない。
- ・ 注意できなくなるような使い方はしないように気をつける。
- ・ 子どもとコミュニケーションをとる場面ではスマホは使わない。
- ・ 過激な内容の物などは見ない。
- ・ 気づけば家族全員スマホを触っていることがありハッとする。が、全員がテレビを見ているのと同じであると思うと、スマホが悪いとは一概に言えない。



## 状況調査の概要

**時期** 令和5年9月～10月

**対象** 小2、小4、小6、中学生  
各校：該当学年の1クラス  
回答は保護者（対象は児童生徒）

小学生	1, 141人（抽出率21.8%）
中学生	600人（抽出率11.5%）
合計	1, 741人（抽出率16.7%）

### 【市内統一事項】

※スマホ・ゲーム機などの通信機器（以下、スマホなどとする）

- 1 使用の時間帯
  - ・午後10時から翌朝6時までは、スマホなどの通信機器を使用しません  
<小学生は午後9時～翌朝7時>
- 2 ルールの設定
  - ・スマホなどは、学校や家庭のルールに基づいて使用します  
<学校に持っていきません><保護者と相談してルールを決めます>
- 3 モラルの遵守
  - ・公共のモラルを守り、電車やバスの中では通話をしません
  - ・「ながら」利用をしません<自転車乗車中・歩行中・食事中など>
- 4 個人情報の保護
  - ・SNSに個人が特定される危険がある情報（名前、住所、学校名、顔写真など）を投稿したり、他人の悪口や人を傷つける内容の書き込みをしたりしません
  - ・自分が言われたり、されたりして嫌だと思ふことは絶対に書きません
- 5 困ったときの相談
  - ・なりすましや知らない人からのメッセージなどに注意します
  - ・心配なことは保護者や大人に相談します